人を、想う力。街を、想う力。
三菱地所

和歌山県
Wakayama Prefecture

白浜町
Shirahama Town

2018年8月8日

報道関係各位

三菱地所株式会社
和　歌　山　県
白　　浜　　町

三菱地所が和歌山県・白浜町においてワーケーション事業に参画

～テナント企業の多様な働き方を支援～

三菱地所・和歌山県・白浜町の３者で進出協定を締結

三菱地所株式会社は、テナント企業向けに、都心の職場環境から離れたリゾート地である和歌山県・白浜町で一定期間勤務することによるイノベーション創出及びモチベーション・生産性向上を目指すワーケーション※事業に参画します。三菱地所、和歌山県、白浜町の３者で、2018年８月８日に進出協定を締結しました。

近年、IoTやAI等の技術進歩がもたらす「働き方改革」や「ワーク・ライフ・バランスの実現」が進められる中、場所にとらわれない働き方である「テレワーク」が普及し始めていますが、多くの企業においてより高い生産性や創造性が求められています。

和歌山県及び白浜町では、2015年よりテレワークを利用しリゾート地で一定期間働くことでイノベーション創出やモチベーション・生産性向上を目指すワーケーションを推進しており、白浜町においてITビジネスオフィスを整備し、民間企業への賃貸を行っております。今回、2018年６月に竣工した白浜町第2ITビジネスオフィスの１区画を三菱地所が賃借のうえ、内装工事を実施し、「（仮称）南紀白浜ワーケーションオフィス」を開設します。三菱地所のテナント企業が新事業創出を目的とする「ハッカソン合宿・開発合宿型プラン」、「研修型プラン」、休暇と業務を組み合わせた「有給消化型プラン」など様々な形で利用して頂けるように運営していきます。2018年内を目途に三菱地所のテナント企業が利用できる環境を整備する予定です。

※Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた欧米発の造語

三菱地所は、東京・丸の内を中心に多くのまちづくりを手掛けてきましたが、今後もテナント企業の多様な働き方を支援するとともに、地方創生にも寄与する取組を行ってまいります。

▲和歌山県・白浜町のビーチ

▲（仮称）南紀白浜ワーケーションオフィス
イメージ

＜「（仮称）南紀白浜ワーケーションオフィス」の概要＞

住　　所：和歌山県西牟婁郡白浜町 2054 番地の 1　白浜町第 2IT ビジネスオフィス内
面　　積：約 60 ㎡（約 18 坪）（共用会議室 7 坪、共用スペース 30 坪付帯）
アクセス：南紀白浜空港から車で約 3 分、南紀白浜 IC から車で約 10 分

▲「白浜町第 2IT ビジネスオフィス」外観

▲「（仮称）南紀白浜ワーケーションオフィス」　イメージ

▲地図

＜（仮称）南紀白浜ワーケーションオフィスの利用について（予定）＞

利用想定プラン：

開発・ハッカソン合宿型

★期限の明確化による生産性向上
★環境の変化・リフレッシュ効果
★アイデア創出、イノベーション促進
★優秀な社員の採用・離職抑制

開発合宿＋研修型

★開発・ハッカソン合宿型要素
★社会的視点を持った社員の育成
★企業CSRの取組、企業ブランド向上
★地域のニーズ解決、新規事業創出

研修＋モバイルワーク型

★研修型とモバイルワークの組み合わせ
★モバイルワークの定着・啓蒙
★会社全体の生産性向上
★モバイルワークを通じた新事業企画

有給消化型

★モバイルワークによる休暇取得促進
★働く環境が整備されたオフィス利用
★ワークライフバランスを実現
★モチベーションと生産性の向上

＜進出協定調印式について＞
実　施　日：2018 年 8 月 8 日（水）
協定の主な内容：・和歌山県におけるワーケーションの推進を目的とし、相互に連携・協力する。
・三菱地所は白浜町でのワーケーション事業に進出する。
・三菱地所は白浜町所有の白浜町第 2IT ビジネスオフィスを使用し、テナント企業向けのワーケーションオフィスの運営を行う。

調印式の様子：

▲（左から）仁坂和歌山県知事、吉田執行役社長、井澗白浜町長

3 者の発言要旨：

■仁坂 吉伸　和歌山県知事の発言要旨
この度、三菱地所様が本県白浜町にワーケーションオフィスを開設され、ワーケーションを普及・推進する事業を和歌山県・白浜町と一緒に実施されることを大変喜ばしく思っております。
日本の非製造業のビジネス活動は、①本社機能をはじめすべての機能を首都圏におく企業で、グローバルスタンダードでは一般的ではありませんが、日本ではこれが主流です。②仕事の一部を切り分けて、地方にサテライトオフィスを設置する企業、③場所にこだわらず、ワーケーションという新しい働き方を行う企業の 3 つがあります。
和歌山県は南紀白浜空港により東京とのアクセスが良く、自然豊かなリゾート地である白浜町がワーケーションの適地であると考えます。三菱地所様の事業が拡大されることを願うとともに、白浜町でワーケーションが普及し、サテライトオフィスの設置が一層進むことを期待しております。

■井澗 誠　白浜町長の発言要旨
このたびの三菱地所様の白浜町への進出を心から歓迎いたします。ワーケーションの推進は国が進める地方創生や働き方改革への大きな流れであり、重要な施策の一つであります。今回の進出がきっかけとなり、多くの事業が生まれ、地域が活性化することを願うものです。町としても、和歌山県や事業者様と連携しながら、ワーケーションの推進に積極的に取り組み、ワーケーションに最適な場所であることを内外にアピールしてまいります。

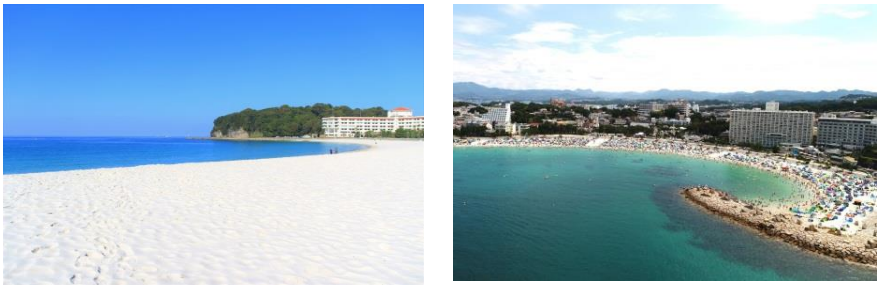
■吉田 淳一　三菱地所執行役社長の発言要旨
国内では未だ例の少ない新しい事業を、ワーケーションにまさに最適な白浜町において、和歌山県様、白浜町様からご支援いただいて事業ができることは、大きなメリットと捉えています。
当社が丸の内をはじめとするまちづくりで培った、まちづくりへの意志とノウハウを生かしながら、この度の事業を通じて、テナント企業のビジネス及び日本の地域産業の発展に貢献したいと考えています。
今後は、和歌山県様、白浜町様とスクラムを組んで、一体となってワーケーション事業を盛り上げ、事業領域を拡大していきたいと考えています。

＜和歌山県及び白浜町の観光について＞

和歌山県：・平成 29 年観光客動態調査によると、和歌山県への観光入込客数は年間約 3,500 万人。
・白浜町を含む紀伊半島には世界遺産（高野山、熊野古道）もあり、ロンリープラネット社発行の「ベスト イン トラベル 2018」地域部門において紀伊半島が世界第 5 位にランクイン。

▲和歌山県の主な観光地

白浜町：　・空港・オフィス・ホテル・繁華街・ビーチ・観光スポットがコンパクトに集積。
・南紀白浜空港は羽田空港から 1 時間 10 分でアクセス可能。また、南紀白浜空港が 2019 年度より空港民営化予定であり、より活性化される見込み。



▲白浜町のビーチ

以　上